



学校だより

平成29年11月30日
横浜市立豊田小学校
12月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

子どもと図書館

校長 瀬尾芳保

11月28日火曜日の朝、全校児童が集まる音楽朝会で体育館にきれいな音色が響きました。5年生のリコーダー演奏と合唱の発表です。運動会が終わってから、縦割り活動「なかよし」のリーダー引継ぎ、5年生が中心になってのなかよし集会と学校全体を引っ張ってきた6年生から、少しずつリーダーとしてのバトンを受け継いでいます。その中で5年生の気持ちに変化が感じられるようになってきました。

来年3月には6年生が卒業し、そのあとは自分たちが豊田小学校の最高学年・リーダーとして引っ張っていく番だ、という思いです。しかし、その裏には今の6年生のようにみんなをまとめて、楽しい活動にできるのだろうかという不安もあり、初めから自信をもってみんなの前に立つことはできません。

そんな、やる気と不安が入り混じる中での発表でしたが、リコーダーも合唱も柔らかい音色で高音、低音がバランスよく調和し、和音が快く響きます。一つひとつの音、歌詞を大切に、丁寧に演奏しようという思いが聞く人に伝わり、体育館にいた子どもたち、教職員そして参観に来ていた保護者の皆さんも演奏に引き込まれるように聴き入る時間が続きました。

実際には10分足らずの時間でしたが、5年生一人ひとりのよさが一つに集まりキラッと輝くのを感じるひと時でした。そして来年度に向けた準備が動き出していることを感じました。



豊田小学校の図書館と子どもたちとのつながりが少しずつ変わってきました。以前から図書館支援隊の皆さんが、楽しい雰囲気を作るための掲示物や本の整理など熱心

に活動してくださっていて、子どもたちも親しみを感じていました。

その上に昨年度から学校司書が配置され、子どもたちが学校にいる時間は図書館に行くことになり、司書の高橋先生が迎えてくれるようになりました。読みたい本を探したり、知りたいことがある時にどの本を調べたいかを相談したりして本との関わりを深めています。

各学級での国語や社会の単元に必要な資料や同じ作者の著作などを準備して、学習活動に広がりや深まりができています。必要な時に必要な情報が手に入ることが、子どもたちの学習意欲を支え、学ぶ楽しさを味わうことに大きな力になっています。

休み時間には静かに本を読む子どもたちの姿があります。校庭に出てボールで遊ぶのを楽しみにしている子も多くいますが、図書館に行ってお気に入りの本を読むことが一日の生活の中で大切な時間と感じている子もいるのです。そして物語の世界に入り込んで心の栄養をたっぷりと吸収していることと思います。授業時間に頑張っている子も、授業後に疲れた心を読書で癒し、次の学習に向かっている子どもたちです。

休み時間の図書館には座って読書をするわけではないけれど、立ち寄ってなんとなく時間を過ごしていく子がいます。時には友達と椅子に座りのんびりとおしゃべりをしている子もいます。時には通り過ぎるだけでも図書館によりたい子もいるようです。

図書館にはゆったりとした時間と、だれでも受け入れてくれる柔らかな空気があるのです。そこにいるとホッと

して気持ちが落ち着く、そんな素敵な場所が豊田小の図書館です。

